

平成22年度 補正予算 地域発元気づくり支援



咲き誇る花 元気づくり支援金で植栽された花壇 7月23日

857件で472万3千円です。
③滞納繰越分の徴収率が上がったため、課税の基が変わっているのではありません。
(倉科建設水道課長)

④2月・3月の出勤日数が少なく減額です。原材料費は凍結防止剤の購入費用です。撤く回数・場所、等々を限定して散布しました。そのため凍結防止剤の購入数量が減少しました。

●総務社会委員会委員長報告への質疑

〔陳情第2号「景観形成住民協定締結地域における届出書の取扱いについての陳情」〕

〔篠崎久美子〕

問

①和田野地区のみとのことですが、この地区で過去に該当する事例は何件ありましたか。

②協定地域の住民側のことについては、どのような審議がされましたか。

③真の訴えはどこにあるかと委員会では審議されましたか。

答

〔松沢貞一総務社会委員長〕

①個別の事例については審議していません。

②和田野地区が、外国人の問題や、第2のニセコにならないように、ということに神経質になって、厳しい規制判断をして許可に時間を要する傾向がある、ということ等が審議されました。

③陳情の真の訴えは、村は公立忠誠な立場で、地区に対して仲裁、調停をしてもら

いたい、ということだと、審議しました。

●議案第37号 白馬村一般会計補正予算(第2号)について

問

〔渡辺俊夫〕

還付に当たっては、過納金と伴に820万4700円もの多額の税金を利息として支出することになります。住民に対して経過の説明と、担当者や監督する立場にある者に対する処分、再発防止策の明示は、どのように行いますか。

答

〔村長〕

広報を通じて、出来るだけ詳しく経過の顛末をお知らせします。
再発防止策として、懲罰委員会や専門の方のお話を聞きながら、厳しい姿勢を持ちながら状況把握をして間違いない判断をし、今後は、個人の資質を高める教育、研修に努めます。